



令和2年8月7日(金)
富岡保育園
りす・うさぎ組 No.4

今年の夏はとにかく暑いですね。水分補給をこまめに行いながら活動したいと思います。
熱中症にも気を付けたいものです。食育で7月後半から一週間ノージュース・ノーアイスの取り組みを行っていただきました。玄関に展示してあるジュースに入っている砂糖の量に改めて驚きました。こんなに小さなペットボトルにこれだけの砂糖が入っているのかと思うと、飲むのをためらってしまいます。スポーツ飲料にも砂糖が沢山入っているそうですので、熱中症等の予防にはスポーツ飲料ではなく、こまめに水分や塩分の補給を行うことがいいようです。これからまだまだ、暑い日が続くと思いますが、

今年はりす・うさぎ組で夏の遊び、泥んこ遊び、水遊び、絵の具遊び等を楽しんでいます。絵の具では、青いロール紙に筆と白い絵の具で描きました。手足についてビックリして泣いてしまった子もいれば、手の平に絵の具をつけて手型を押す子もいて、それぞれ色々な反応が見られました。

泥んこ遊びでは、水遊びとはまた違い、砂と泥をバケツに入れて御馳走に見立てたり、足に泥をかけて感触を味わったり、子ども達も豪快に遊びました。色々な感触を味わったのでまた、これから様々な遊びができるといいなと思います。



みず・絵の具
あそび♪



★泥んこ遊び★楽しいな♪

砂場を解放して、 TENT を張り泥んこ遊びを楽しみました。

水を入れてあげると足でパシャパシャする子ども達。少しくぼんだ所に水がたまるのが楽しいようで、そこに砂を入れて泥にしたり、泥をすくって型抜きに入れてごちそうにしたり、足に砂を固めて砂の感触を味わったりと、大人が思っている以上に豪快に遊んでいました。怖がったりする子は居なくて、それぞれが楽しんでいました。「先生はい、アイス作ったよ」などことばのやり取りも弾みます。水遊び、砂遊びとはまた違った感触が楽しめたのではと思います。



どろんこ
楽しいな♪



お水を入
れて



☆お家での歯磨きタイム大丈夫ですか？こんな記事を見つけました。

幼児の歯ブラシ事故注意！！

幼児が歯ブラシで喉をついたり口の中を傷つけたりする事故が後を絶たないとして、東京都生活文化局消費者生活部が保護者に注意を呼びかけている。喉の奥に入らない形状の幼児用歯ブラシの使用や、歯磨き中に幼児を床に座らせて転倒を防ぐ工夫などを勧めている。

都に多く報告されたのは、1歳から3歳半までの事例。ある2歳児は歯磨き中にふざけて姉とぶつかり、歯ブラシが喉に突き刺さって出血。

3歳児は座っていた椅子から落ち、歯ブラシが喉に刺さりそうになった。

幼児は予期せぬ動きをするもの。歯磨き中は保護者が必ず見守ろう。市販の幼児用歯ブラシの中には、柄が短いものや、柄が軟らかく曲がるものなどがある。喉に届きにくい工夫が施されており、事故防止には効果的だ。

歯磨き中に歩くのはもちろん危険だが、幼児は立った状態だけでも転倒する可能性が生じるという。床に座らせて歯を磨かせることで、けがのリスクを減らせる。不安定な体勢になりやすい椅子、ソファ、踏み台などの使用も避けたい。大人用の柄が長い歯ブラシは、子どもの手が届かない場所に置こう。

～R2年7月9日付け 熊日新聞より～

♪今歌っているお歌です♪

「かにさん」 かにさんかにさん どこへいくの はさみをもって どこいくの ♪

「アイスクリーム」 アイスクリーム アイスクリーム どこからどこから なめようかな
とけちゃうよ でも どこから なめようかな ♪